

令和7年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について (R7.10月末実績)

・ 農林業分野	:	1	～	4	ページ
・ 水産業分野	:	5	～	7	ページ
・ 商業分野	:	8	～	11	ページ
・ 工業分野	:	12	～	13	ページ
・ 観光分野	:	14	～	22	ページ

令和7年度の取り組み状況【農林業分野】

	R7年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
新規就農者数	10人	7人	-	

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。


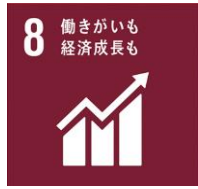

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<p>【R7.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>10月末実績：本指標はR6年度の新規就農者数を入力することから、これが年度末にも報告する最終値となる。</p> <p>今年度の状況としては、新規就農相談件数は24件で、前年同月対比＋6件と相談件数は増加。相談内容としては親元就農のほか、他産業からやUターンによる就農相談もあるが、研修を受ける意思が弱い方や補助事業の要件を満たさない方も多く、就農意欲や農業に対する考えなど十分に聞き取りを行い対応を行っている。</p> <p>すぐに研修開始とまらないまでも、研修開始時期を調整するなど、継続的に関わっている相談者もいる。</p> <p>【R7.11月以降の取組について】(A)</p> <p>引き続き、農業振興センターやJAと連携を図り、各機関の担当者も交え就農相談に対応していく。</p> <p>また、県外の就農相談会などを活用し本市のPRを行っていくことでU・Iターンによる新規就農者の確保にも注力していく。</p>

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手確保に 向けた取り組み</div> <div><div>4</div>質の高い教育を みんなに</div>	◆ 担い手確保に向けた取り組み			
	<div>1. 新規就農者総合対策事業(就農準備資金)</div> <div>目標値 ： 補助交付人数(1人) 10月末実績 ： 0人 ※旧「農業次世代人材投資事業(準備型)」 R4年度より名称変更。</div> <div>【実施主体】 高知県</div> <div>【連携する分野】 雇用就農資金 高知県就農支援事業 (※当事業は就農前の支援)</div>	<div>【当初】 次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。 ・香南市広報への掲載による制度の周知 ・合同就農相談会や移住相談会において、就農希望者へPR</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:0人</div>	<div>関係機関が連携し、新規就農希望者への相談対応を行っており、昨年度4月から本年度8月まで制度を利用し研修を行い、本年8月11日に就農した継続採択者がいる。</div> <div>現状では、具体的な要件を確認した上で研修の受入先を探している相談者はいないが、相談者が多いニラをはじめ受入可能な指導農業士等が不足していることが課題。</div>	<div>10月に大阪での就農相談フェアへの出展を実施しており、11月には東京開催の新・農業人フェアへの出展も実施予定。県内外での相談およびPRの機会を積極的に活用していく。</div> <div>また、普段からの窓口対応も含めた就農相談等により、意欲ある就農希望者を着実に研修につなげられるよう関係機関とも連携を図っていく。</div>
	<div>2. 新規就農者総合対策事業(経営開始資金)</div> <div>目標値 ： 補助交付人数(4人) 10月末実績 ： 3人 ※旧「農業次世代人材投資事業(開始型)」 R4年度に名称変更。</div> <div>【実施主体】 高知県 香南市</div> <div>【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)</div>	<div>【当初】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。 ・香南市広報への掲載による制度の周知 ・合同就農相談会や移住相談会において、就農希望者へPR ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームによる、経営・技術・営農資金農地等の課題への対応</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:3人(ニラ、ミカン、ピーマン)</div>	<div>地域おこし協力隊の任期終了した方2名及び就農準備資金の活用による研修が終了した方1名がそれぞれ5月と8月より独立自営を開始(うち2名実践型研修ハウスを活用:ピーマン・ニラ)</div> <div>その他にも本事業の活用について相談はあるものの、所得要件や家族の経営形態など要件を満たせない相談もある。</div>	<div>現時点で他に本年度内での事業採択が見込まれる方はいないが、次年度(現時点ではR9.1月)独立予定の方が1名。</div> <div>引き続き窓口等での就農相談で要件に合う方がいれば案内を行っていく。</div>

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
担い手確保に 向けた取り組み	3. 農業後継者推進事業	【当初】 農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、 就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため当補助金 を交付する。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。) ・香南市広報への掲載による制度の周知 ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポート チームによる、経営・技術・営農資金農地等の課題への対応 【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:2人(花卉等及びミカン) ※11月採択者1名(ニラ・水稻) ※12月採択者1名(ニラ)	担い手育成センターでの研修受講が難しく就農支援事業(後継者就農促進事業)の要件を満たせない方などを 中心に案内しており、10月末時点で新規採択者は2名。 11月以降での採択者(予定を含む)は2名おり、近年は安定して4人前後の方が採択されている。	国・県事業の対象とならなかった方への受け皿として比較的要件を緩和している事業でもあるため、PRチラシなどを活用し 引き続き親元就農への支援に取り組んでいく。 しかしながら、親元就農は新規参入者と比較すると就農にあ たつての環境や条件が整っているとされるため、現在、交付期間の見直しをはじめ補助事業の縮小を検討・精査中であり、今後の相談者に対しては慎重に対応していく。
	目標値 :補助金の新規交付人数(4人) 10月末実績 :2人 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 高知県就農支援事業 (※当事業は就農後の支援)			
経営改善・農地 維持に向けた 取り組み	◆経営改善・農地維持に向け取り組み			
	1. 園芸用ハウス整備事業	【当初】 JAが園芸農家に賃貸する園芸用ハウスや、自然災害の被害を受けたハウスの復旧、また、中古ハウスの改良費等に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者の負担軽減を図る。 ・香南市広報への掲載による制度の周知 ・JA主催の説明会において事業の広報及び説明 【10月末までの取り組み状況】 流動化区分(新規就農)…2件 流動化区分…2件 新規就農区分…1件 高度化区分…2件 災害復旧区分…2件	R7年度は昨年度に比べ要望が多くあったことから、実績が多くなっている。(R6年度実績:5件(繰越含む)) 要望どおりに事業申請まで至らない案件が2件あったのが課題。理由は、流動化区分の申請を予定した農業者では、より良い中古ハウスが見つかり修繕が必要なくなったことと、高度化区分で新設ハウスを建設予定であった農業者では、建設を決めていたほ場が南海トラフ地震の際には浸水する危険があり、ほ場を考え直したいとのことであった。JAと連携し、要望を精査するための聞き取りは行っているものの、今後はその精度をより高めていく必要がある。	R8年度についても、引き続き事業の活用に向けて、JAや農業振興センターと連携し、周知を行う。 要望を受けた際には、JAや農業振興センターに共有し、事業申請に向けたスケジュール等を申請者である農業者に提示していく。 また、ほ場の状況やハウスの修繕箇所等について聞き取りすることで、事業申請に至らないケースを減らす取り組みを行っているが、事業申請までに期間が空いていることから、状況が変わってくることがあり、その際は県と協議し、柔軟な対応を心がける。 中古ハウスの移設を伴う工事については、事業費が高くなることから、移設を伴う場合には、新設ハウスの提案を行うようにしていく。新規就農者への支援として、無利子の制度資金の活用と併せて新規就農区分によるハウス新設も積極的に案内していく。
	目標値 :整備件数(13件) 10月末実績 :9件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -			
2. 園芸用ハウス等リノベーション事業	【当初】 JA及び市場等を通じて要望を取りまとめて、環境測定装置や炭酸ガス発生装置等の機器導入を行った施設園芸農家に対し、県と市が補助を行う。 【10月末までの取り組み状況】 29施設(42機) ・被覆資材8件・炭酸ガス発生装置3件 ・環境測定装置11件・日射比例灌水装置3件 ・自動開閉装置9件・カーテン資材8件	R7年度はハウス内部施設又は露地圃場の省力化・高度化につながる環境制御装置の導入機器数が34機に対して、ハウス本体の補強及び被覆資材等の高度化に要する資材の導入が8件。昨年度以上の要望があり、当初から予定していた申請者については着実に事業化につながれたが、一方で、今年度から県と市の補助金が一 本化されたことで、4月の一次申請のタイミングで県の予算上限に達し、事業の追加要望ができない状況だった。 ※本市からの当初要望は全て採択済み。	今年度の申請分は全て事業着手しており、一部事業完了に至ったものもあるが、その他の案件についても引き続き進捗管理を行っていく。 すでにR8年度要望も県に提出済みであり、R7年度並みの要望があがっている。ここからの追加要望は難しいことはJAら関係機関と情報共有を行っており、辞退者が出ないかなど、申請予定者の状況把握に努めていく。	
目標値 : 活用施設件数(20件) 10月末実績 :29件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -				

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み	◆経営改善・農地維持に向け取り組み			
	3. 農産物の販売力の推進（みかん） 目標値: 山北みかん販売額(1,000,000千円) 10月末実績：－ 千円	【当初】 県営耕作条件改善事業の活用による基盤整備や親元就農等を中心とした新規就農者の確保により「山北みかん」産地の維持、活性化を図り、販売拡大に取り組んでいく。 ＜参考＞ R7目標設定: 露地3億、ハウス7億 ※R7表・R8裏・R9表 【10月末までの取り組み状況】 － 千円	昨年は、裏年の中でも近年稀にみる不作の年であったが、今年は表年となるため収量については前年度比で確実に増加する見込み。2年前の表年と比較すると、現時点で75%程度。シンガポールや香港への輸出も行っており、今年は18t程度の予定。 また、単価に関しては、昨年は極端に収量が少なかったことで異常なほどの高値だったが、今年は堅調な推移となっている。 山北みかんとしてブランディングができており販売体制は一定確立されているため、産地として収量(出荷量)の底上げを行っていくためにも安定的な担い手の確保が今後の課題と思われる。	表年の平均的な収量が見込まれているが、引き続き早生みかんの収穫最盛期の11月～12月の状況把握にも努めていく。11月には恒例となっている千葉県の「しよいかーご」での山北みかんフェアなども予定されており、地域おこし協力隊の隊員2名も参加し、産地としてのPRを行い、販売を推進していく。
	4. 農産物の販売力の推進（ニラ） ※ 園芸年度：8月～翌7月 目標値：ニラ販売額(1,370,000千円) 10月末実績：1,549,470千円(R6.8～R7.7)	【当初】 規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。 【10月末までの取り組み状況】 1,549,470千円(R6.8月～R7.7月園芸年度実績) ※出荷量:2,009t	園芸年度実績として前年度対比約2億の増加となった。要因としては、前年度からの傾向として全体的な出荷量減に伴う単価高が続いていることや、それに起因して系統出荷が増加したことが挙げられる。 また、そぐりセンターの利用者も徐々に増えており、市や振興センターも含め担い手との面談のときなどに、そぐりセンターの積極的な活用を呼びかけてきたことが一定の成果につながっていると思われる。 担い手の高齢化や少なからず引退される方もいるが、ニラは毎年着実に新規就農者を確保しており、既存若手農家の規模拡大なども進んでいるため、産地全体としての出荷量を何とか維持しており、今後も担い手の確保を課題と捉え、引き続き取り組みを進める必要がある。	本市のニラ農家は市場などに出荷する系統外出荷も多いため、産地としての全体の把握は困難であるが、これまで続けてきた新規就農者(担い手)の確保に引き続き注力するとともに、そぐりセンター活用の推進を行う等の取り組みにより系統集荷を増やし、産地としての一体感を高め、販売額の増加につなげていく。
	5. 中山間地域等直接支払事業 目標値：対象農地面積(7,073a) 10月末実績：4,222a	【当初】 中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。R7年度からは第6期対策(5年間、R7年度～R11年度)として各団体が取り組む。 交付金の加算項目となる「ネットワーク化活動計画」の作成取組の実現に向けて、各団体を支援していく。 【10月末までの取り組み状況】 8集落協定、対象農地面積4,222aで計画申請。 対象農地の協定代表者と現地確認を実施済。	昨年度実績の対象農地面積(7,073a)から今年度対象農地面積(4,222a)と大幅な面積減少となった。昨年まで活動していた2組織の活動辞退や新たな5年間の取組になったことでの対象農地の見直しが面積減少の要因である。 9月10月には、集落協定の代表者と対象農地の現地確認を実施して、維持管理が不十分と見られた農地については、草刈り等の対応をするように指導を行い、改善した。	活動辞退となった1組織については、新たな体制での活動意欲があるため振興センターと連携して事業参加を促していく。広報等で制度の周知を行い、新規の集落協定の掘り起こしに繋げていく。
	6. 多面的機能直接支払事業 目標値：対象農地面積 29,159a 10月末実績：23,326a	【当初】 各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。 R7:8組織(中ノ村、古川、吉原、西部、本村、山南、上夜須、西山) 新規立ち上げ1組織(予定)、既存組織の対象農地面積拡大 【10月末までの取り組み状況】 対象農地面積:23,326a(8組織) 各地区それぞれ取り組みを行っており、9月に概算払いにて交付を受けている。	対象農地面積の増加をしてもらうため、各組織へ依頼をしているが、活動人数に限りがあることから、さらに対象農地の面積を増やすことが難しい。今後も活動組織向けの研修会などのサポートを継続して行っていく必要がある。	来年度に向けて既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう組織に向け呼びかけを行う。
	【実施主体】 JA高知県香美地区、香南市	【連携する分野】－		

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み  	◆経営改善・農地維持に向け取り組み			
	7. 有害鳥獣被害対策実施事業 目標値 : 駆除数(815頭羽) 10月末実績 : 473頭羽 【実施主体】 香南地区猟友会 / 香我美狩猟クラブ 【連携する分野】 有害鳥獣防止事業 新規狩猟者確保事業	【当初】 香南市有害鳥獣被害対策協議会事業計画に則り、対象となる7種の鳥獣駆除に取り組む。 【10月末までの取り組み状況】 イノシシ:191頭、シカ:194頭、その他(カラス、タヌキ、ハクビシン等):88頭	10月末時点では、例年に比べると有害鳥獣の目撃情報及び農作物被害等は減少傾向にある。一方、農業被害以外でも生活環境被害の相談も見受けられる。被害報告等で目立った増加は現時点で確認されていないが、報告のない潜在的な被害も多くあると考えられることから、被害の把握が今後の課題。	11月15日から猟期に入るため下半期は駆除としての件数は、減るが、引き続き住民からの被害情報や目撃情報等を香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと共有し、連携を図ることで有害鳥獣対策を行っていく。
森林環境の保全に向けた取り組み 	◆ 森林環境の保全に向けた取り組み			
	1. 意向調査の実施 目標値 : 意向調査の面積(48ha) 10月末実績 : ー ha 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 森林管理制度森林境界明確化事業	【当初】 森林環境譲与税を活用し、森林保有者に、自身が保有している整備されていない森林の管理を、市に委ねるかどうかについて意向調査を実施する。 R7年度～R9年度:森林所有者へ意向調査を実施(夜須町羽尾地区林班31)(香我美町別役地区林班71・舞川地区林班46・正延地区林班71・72) 【10月末までの取り組み状況】 夜須町羽尾地区・香我美町別役地区の森林所有者の情報を整理中。	R7年度からは、森林組合と協議を行った結果、新たに夜須町羽尾地区・香我美町別役地区にて意向調査を実施する。 現在、意向調査の発送に向けて準備中である。	【R7年度11月以降】 森林所有者への意向調査を発送する。 ・夜須町羽尾地区(11月末発送予定) ・香我美町別役地区(11月末発送予定) 地下水量の維持・増進のため、将来的な間伐実施に向けて林業事業体と意見交換をした上で、今後の意向調査実施地区の調整を図る。 【R8年度】 新たに香我美町舞川地区で調査を実施する。
	2. 間伐事業 (保育・搬出間伐) 目標値 : 保育・搬出間伐面積(40ha) 10月末実績 : ー ha 【実施主体】 香美森林組合 【連携する分野】 -	【当初】 「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が保育・搬出間伐を森林計画作成済みの地区及び意向調査、森林境界明確化を実施し、森林経営計画を新たに作成した地区で実施する。 R7年度～R9年度:保育・搬出間伐の実施(夜須地区・香我美地区) 【10月末までの取り組み状況】 香我美町:奥西川、撫川、舞川 夜須町:仲木屋 上記の地区で搬出間伐を実施中。	搬出間伐(香我美町奥西川(32林班)、夜須町仲木屋(41、42林班)、香我美町撫川(62林班)、香我美町舞川(42、43林班)を実施中。 ※実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和7年度の実績としては、R7年1月～12月の間伐実施面積となる。 事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。	【R7年度11月以降】 引き続き事業を実施していく。 R7年度実績見込み ・搬出間伐 35.89ha (香我美町奥西川(32林班)、夜須町仲木屋(41、42林 班)、香我美町撫川(62林班)、香我美町舞川(42、43林班) 見込み 保育間伐に関しては、森林組合と調整中。 【R8年度】 保育間伐及び搬出間伐を香我美町舞川、撫川(36, 37, 39, 40, 41林班)で実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。

令和7年度の取り組み状況 【水産業分野】

	R7年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
沿岸漁業 総生産額	280百万円	119百万円	-	

※高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R7.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 10月末実績： ・シイラ及びイワシシラス共に、前年度と比較すると、約1/2の生産量である。原因は不明であるが、黒潮の大蛇行は終息したものの、黒潮の流れが早いことや海水温の上昇、イワシシラスについては親魚の産卵後、土佐湾へ入ってきていないなどが原因と思われる。 【R7.11月以降の取組について】(A) 生産額についてはシイラの漁期が終了を迎えることもあるが、今後、最盛期を迎えるイワシシラスの動向に注視していく。

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手の確保</div> <div></div>	◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保			
	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業)	【当初】 自営漁業者育成、漁家子弟支援事業、雇用型漁業支援事業があり、県内外のフェア等に参加し、市内水産業を広く周知していく。	香南市内の漁業形態(シイラ及びイワシシラス)は1人での操業が厳しい状況であり、「雇用型」「漁家子弟」での担い手確保を目指している。	令和7年度は、1月から「雇用型」において支援を開始する予定である。 今後も(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により就業希望者へ広く周知していく。
	目標値：就業人数(1人) 10月末実績：0人	【10月末までの取り組み状況】 (一社)高知県漁業就業支援センターにおいて、県外や高知市内でフェア等を開催し、担い手の確保に取り組んでいる。 1月から1人支援を開始する予定。		
	【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者			
	【連携する分野】 -			
<div>地産の強化</div> <div></div>	◆ デジタル技術の導入			
	1. 沿岸漁業設備投資促進事業	【当初】 省力化や省コスト化につながるデジタル機器の導入の支援を行う。	漁業者の高齢化や担い手不足により、設備投資に費用をかけにくく、現在の機器類を修繕しながら操業している状況である。	担い手対策とあわせて省力化、省コスト化等につながる設備投資を案内し、生産性の向上を図っていく。
	目標値：導入件数(1件) 10月末実績：0件	【10月末までの取り組み状況】 高知県の燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金において、ソナーや魚群探知機等の省力化や省コスト化につながるデジタル機器の案内を希望者へ案内している。		
	【実施主体】 香南市			
	【連携する分野】 -			
	◆ 漁船導入支援事業			
1. 漁船導入支援事業	【当初】 漁船導入事業(希望者があり次第随時)	毎年県漁協へ漁船導入事業の需要調査を行っているが需要がない。 年齢制限などがあり、後継者不足であることも一因だと思われる。	漁船導入事業は、一般社団法人 高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し、事業実施に向けた調整を継続していく。	
	目標値：導入件数(1件) 10月末実績：0件	【10月末までの取り組み状況】 (一社)高知県漁業就業支援センターと連携し、希望漁業者へ広く周知している。		
	【実施主体】 香南市、(一社)高知県漁業就業支援センター			
	【連携する分野】 -			

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】																																													
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて																																													
流通・販売の強化	◆ 販売額・魚価の強化																																																
	1. 市内水産物の魚価向上	【当初】 平均kgあたりの単価は天候等に好不漁は左右されるが、デジタル化等の導入による安定化、また市内飲食店からの情報発信など市内水産物をPRしていく。 【10月末までの取り組み状況】 <table><tr><td></td><td>年度</td><td>シイラ</td><td colspan="3">イワシシラス</td></tr><tr><td></td><td></td><td>手結</td><td>赤岡</td><td>吉川</td><td>合計</td></tr><tr><td rowspan="2">生産量(kg)</td><td>R6.10末</td><td>469,654</td><td>41,364</td><td>60,646</td><td>102,010</td></tr><tr><td>R7.10末</td><td>189,648</td><td>26,062</td><td>30,129</td><td>56,191</td></tr><tr><td rowspan="2">生産額(円)</td><td>R6.10末</td><td>83,854,422</td><td>39,736,680</td><td>43,986,200</td><td>83,722,880</td></tr><tr><td>R7.10末</td><td>46,694,036</td><td>22,206,400</td><td>22,497,700</td><td>44,704,100</td></tr><tr><td rowspan="2">平均単価(円/kg)</td><td>R6.10末</td><td>179</td><td>961</td><td>725</td><td>821</td></tr><tr><td>R7.10末</td><td>246</td><td>852</td><td>747</td><td>796</td></tr></table>		年度	シイラ	イワシシラス					手結	赤岡	吉川	合計	生産量(kg)	R6.10末	469,654	41,364	60,646	102,010	R7.10末	189,648	26,062	30,129	56,191	生産額(円)	R6.10末	83,854,422	39,736,680	43,986,200	83,722,880	R7.10末	46,694,036	22,206,400	22,497,700	44,704,100	平均単価(円/kg)	R6.10末	179	961	725	821	R7.10末	246	852	747	796	シイラ及びイワシシラス共に、前年度と比較すると、半分以下の生産量である。 シイラの実生産量は約40%、イワシシラスは55%で、平均単価についてはシイラ137%、イワシシラス97%になっている。 好不漁により、平均単価は上下するが、イワシシラスは昨年度よりも獲れていないものの単価はほぼ横ばいである。	シイラは前年度と比較すると、不漁であったが、その分単価は上がっている。 イワシシラスについては、今後最盛期を迎えるため注視していく。
			年度	シイラ	イワシシラス																																												
				手結	赤岡	吉川	合計																																										
生産量(kg)	R6.10末	469,654	41,364	60,646	102,010																																												
	R7.10末	189,648	26,062	30,129	56,191																																												
生産額(円)	R6.10末	83,854,422	39,736,680	43,986,200	83,722,880																																												
	R7.10末	46,694,036	22,206,400	22,497,700	44,704,100																																												
平均単価(円/kg)	R6.10末	179	961	725	821																																												
	R7.10末	246	852	747	796																																												
目標値：平均kg単価(円/kg) (シイラ) 【平均kg単価(181円/kg)】 (イワシシラス) 【平均kg単価(498円/kg)】 10月末実績 (シイラ) 【平均kg単価(246円/kg)】 ・・・前年同月比 137% (イワシシラス) 【平均kg単価(796円/kg)】 ・・・前年同月比 97% 【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 行政(高知県・香南市) 【連携する分野】 -																																																	
2.高知県漁協手結支所の販売額	【当初】 【県漁協手結支所加工事業の支援】 ブライン凍結機導入、フォークリフト、冷凍庫 【10月末までの取り組み状況】 仲卸業者への加工事業出荷の増 R7 1, 311万円(R7.10月末)	ブライン凍結機等の購入を考えているが、加工する人員不足の課題がある。	フォークリフトについて、購入又はリースなどの経済比較を行いながら進めていくため、協議を進めながら支援を行っていく。																																														
目標値：販売額(4,000万円) 10月末実績 :1,311 万円																																																	
【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 【連携する分野】 -																																																	

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
流通・販売の強化	◆ 市内飲食店での使用			
	1. 市内飲食店への販路拡大	【当初】 市内飲食店へ市内水産物の活用実績をアンケートを取り、市内飲食店から情報発信を行い、認知度を向上させる。	手結のシイラや市内産イワシシラス共に、販路拡大や単価の向上に向けて、アンケートを実施しようとしたものの、農林漁業の官民共創説明会の実施があったため取組方法の見直しを行う。	農林漁業の官民共創説明会が開催されたことにより、農山漁村の課題と各企業が持つ解決策のマッチングを実施し販路拡大及び単価の向上を図っていく。
	目標値： 導入件数(1回) 10月末実績： 0回			
	【実施主体】	【10月末までの取り組み状況】 販路拡大に向けて、農林漁業の官民共創説明会等に参加し、ヒアリング等を実施した。		
	【連携する分野】 -			
	◆ 学校給食等への納入			
2 飢餓を ゼロに	1. 学校給食等への納入	【当初】 市内産のシイラ及びかちりじゃこの納入を継続し、納入回数についても現状を維持していく。 ※R6.9月からこうなん給食センターと赤岡・吉川給食センターが統合したため、目標値を第2期と比較し、下方修正している。	(シイラ) こうなん給食センターは、食数が多く、使用する当日に解凍済の状態での納品が必要であるが、現在は解凍済での納入が難しいこと、また、献立では栄養面や他のメニューとの兼ね合いなどあるため、納入回数が限られる。	(シイラ) こうなん給食センターへ統合されたことにより、食数が増加したため、解凍状況により納入が難しくなったため、給食センターと協議し納入回数の増加を目指す。
8 働きがいも 経済成長も	目標値： 納入回数(回) (シイラ) 18回 (かちりじゃこ) 42回 10月末実績 (シイラ) 4回 (かちりじゃこ) 21回 【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等) 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 シイラ 4回 かちりじゃこ 21回	(かちりじゃこ) 和え物等の複数の献立に使用されており、計画通りに納入されている。	(かちりじゃこ) 教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。今後も食育等を通じて、市内漁業及び水産業をPRしていく。

令和7年度の取り組み状況【商業分野】

	R7年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
商業者数 (事業所)	764事業所	—	—	

※ 商業者数は、香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。

■ 取組の総評（※ 左の数値に対しての総評）

<p>【R7.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>商業者数は年度末以降に公表が行われるため、評価は示していない。 新規創業の支援の取組としては、市HPで創業支援等事業計画および空き店舗等対策事業費補助金の周知を行った。空き店舗等対策事業費補助金は、現時点で1件の交付決定となっており、商工会と連携した事業周知や、主に市内不動産会社が所有している物件情報を集約して市HPへの掲載を行うことで空き店舗情報の発信にも取り組んでいる。</p> <p>担い手の確保・育成の取組としては、奨学金返還助成事業の拡充(対象要件の緩和、助成額の拡充)や、事業承継の譲受側に対する補助制度を新設した。 商業支援の取組としては、ふるさと納税の寄附額増加に向けての事業者開拓や返礼品開発、市内事業者のデジタル化の促進に向けて補助金の新設、「香南市中心市街地活性化計画」に基づいた取組として、高知蔦屋書店等にて「マルシェこうなん」を実施した。</p> <p>【R7.11月以降の取組について】(A)</p> <p>新規創業の支援の取組については、創業支援等事業計画に基づく独自支援策として、空き店舗等対策事業費補助金と連動した取組を行う予定。また、創業希望者に対し空き店舗等対策事業費補助金や商工会の個別相談および土佐MBAの講座の周知を図っていく。 担い手の確保・育成の取組については、市HPや広報誌等も活用しながら、各種支援策の周知に引き続き努める。 商業支援の取組については、市内事業者にデジタル化促進に向け補助金周知を図るほか、ふるさと納税の寄附額拡大および事業者の売上拡大に注力していく。</p>
--

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
新規創業の支援	◆ 新規創業の支援			
	<div>8 働きがいも 経済成長も</div> <div>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</div> <div>1. 創業支援事業</div> <div>目標値：創業者数(8人) 10月末実績:2人 ※昨年度10月末実績:3人 ※昨年度創業者数:5人</div> <div>【実施主体】 香南市 香南市商工会</div> <div>【連携する分野】 工業分野、観光分野</div>	<div>【当初】</div> <div>・R7:特定創業支援等事業計画の更新 ・市HP等による情報発信 ・商工会とも連携した創業希望者への事業説明</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・市HPでの情報発信 ・特定創業支援等事業計画の変更申請中 ・計画に基づく認定件数 3件</div>	新規創業者は2名だが、特定創業支援等事業計画に基づく認定は3件ある。 計画に基づく認定が小規模持続化補助金(創業型)の申請要件になったため、認定件数を伸ばすことができているが、今後も、創業の相談があった際の紹介等を通して、制度の周知に努めていく必要がある。	創業者にとって、創業時に必要な「経営・財務(税務)・人材育成(労働)・販路開拓(取引)」に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1つのツールとして、創業希望者へ商工会の個別相談および土佐MBAの周知を図っていく。 次年度より創業支援等事業計画に基づく特定創業支援等事業証明書の発行を受けた事業者に対し、空き店舗等対策事業費補助金の補助率を上げるなどの連携をしていく予定。

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
新規創業の支援	◆ 新規創業の支援			
	2. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金)	【当初】 ・市HP等による情報発信 ・市HPおよびこうち創業Villageへの空き店舗情報掲載(市内不動産会社等と連携) ・市内金融機関への補助事業説明 ・商工会とも連携した創業希望者への事業説明	昨年度と比較すると、創業に係る支援策の問い合わせおよび補助金の活用件数は下回っている。 現在1件の実績報告待ちではあるが、活用件数が下回っている原因として、創業者のニーズに合う物件が少ないことが考えられる。 そのため、空き店舗情報の集約に努めていく必要がある。	今後も、支援策の周知に努めるとともに、市商工会等と連携し、創業時の経営計画策定や手順等について支援を行い、空き店舗を活用した創業に繋げていく。 また、市HPの空き店舗情報の集約にも努める。 あわせて、創業支援等事業計画に基づく認定を受けた事業者に対し、補助率を上げるなどの連携をしていく予定。
	目標値：補助金利用件数(3件) 10月末実績:0件(交付決定:1件) ※昨年度10月末実績:1人 ※昨年度実績:3人 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	【10月末までの取り組み状況】 ・市内金融機関に対する補助事業の説明(4/17) ・市HPでの情報発信 ・補助金に関する問い合わせ:3件 ・補助金活用による新規創業:1件 ※補助金は昨年度活用		
	3. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致	【当初】 ・立地検討企業への補助制度の説明 ・立地企業における就職説明会の開催等の支援 ・情報サービス施設等立地促進事業費補助金の執行	今年度、現時点では地方進出を検討されている企業との面談等は実施できていない。昨今は、地方へのオフィス開設を見送る企業も多くなってきているが、相談があった際には少しでも多くの物件紹介ができるよう、空き店舗情報の集約に引き続き努めていく。	市内空き店舗情報の集約に努め、紹介できる物件の充実を図るとともに、首都圏企業の動向等も注視しながら、継続した企業誘致活動の実施、今後の取組展開の再検討を行っていく。
	目標値：誘致企業数(1件) 10月末実績:0件 ※昨年度実績0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 ・立地企業の人員募集にかかる広報支援		
担い手の確保・育成	◆ 担い手の確保・育成			
	1. 事業承継の推進	【当初】 ・R7:支援制度(譲受側への補助制度※中山間地域での承継に限る)の新設 ・市HP等による事業承継啓発に関する情報発信 ・市商工会による事業承継ヒアリング ・事業承継・引継ぎ支援センターによる相談会	事業承継について、市へ直接相談に来られるケースはほとんどない状況が続いている。 事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数は増加傾向にあるが、補助金の利用が現時点ではないため、補助金の周知等に努めていく必要がある。	今後も継続して、事業承継に関する情報を市広報誌等を活用して発信することで、事業承継の取組に対する意識向上を図っていく。 また、今年度新設した補助金の周知等も含め、事業承継の推進に向けた効果的な取組内容を、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとも連携しながら検討していく。
	目標値：事業継承事業者数(7人) 10月末実績:1人 ※昨年度10月末実績:4人 ※昨年度実績:6人 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	【10月末までの取り組み状況】 ・事業承継等推進事業費補助金の新設 ・事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報を市広報誌に掲載(7月) ・事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数(香南市分):7件		

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
担い手の確保・育成	◆ 担い手の確保・育成			
	2. 奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成金)	【当初】 ・R7:助成制度の拡充(対象要件の緩和、助成額の拡充) ・市HP等による情報発信 ・企業訪問等における事業説明 【10月末までの取り組み状況】 ・香南市未来人材育成奨学金返還助成金交付要綱の改正 ・香南市広報4月号掲載 ・香南市公式LINEで周知(5月/10月) ・県内の大学・専門学校等で事業案内 ・校長会にて周知 ・チラシの作成および市役所窓口で配布 ・10月末実績の39件のうち新規申請件数:35件	今年度より助成制度を拡充した影響もあり申請件数を大幅に伸ばしている。 定住を図る取り組みの一つとして、県内の教育機関等への周知を継続して行う必要がある。 また、対象となり得る市民への事業周知も継続して行う必要がある。	転居者や転入者に対しチラシを配布するなど、少しでも多くの市民に周知できるよう努める。 市のSNS(LINE)も活用し、若い世代への周知をより効率的に行う。 県内の教育機関へ訪問等を行うことによって、香南市の定住に繋げていく。
商業支援	◆ 商業支援			
	1. 地場産品販売促進事業	【当初】 ・市観光協会や関係業者と連携した事業の推進 ・参画事業者や返礼品の新規開拓 ・各ポータルサイトの管理運営 ・参画事業者に対する説明会、個別相談会の開催 【10月末までの取り組み状況】 ・新たな事業者開拓および返礼品開発 新規参加事業者(19社)、新商品(552商品) ※ページ作成中も含む ・イベント等への出店や資料発送による、特産品、ふるさと応援寄附のPR ・参画事業者説明会の開催(6/27)および個別相談会の実施(4月～7月、10月)	コンサル事業者や観光協会と連携し、参画事業者数や返礼品数を大幅に伸ばしている。 参画事業者に対しての説明会や、個別相談会も定期的に行っている。 また、R7年10月の制度改正に伴い、例年通りではない寄附の推移をしているが、昨年度より大きく寄附額を伸ばしており、目標値である550,000千円を達成する見込みである。 今後も継続して返礼品開発等が必要。	今後も事業者への個別相談会などを通して、返礼品の拡充を行い、地元事業者の売上増を目指す。 また、ポータルサイトの拡充検討や事業者訪問なども適宜行っていく。 ※返礼品の拡充について、香南市産業振興計画推進事業費補助金を活用した返礼品開発なども取り組んでいく。
	2. デジタル化推進事業 (デジタル技術活用促進事業費補助金)	【当初】 ・R7:支援制度(県補助金の上乗せを想定)の新設 ・市HP等による情報発信 ・企業訪問等における事業説明 【10月末までの取り組み状況】 ・香南市デジタル技術活用促進事業費補助金の新設 ・市HPでの情報発信、高知県産業振興センターにおける周知 ・県補助金の採択事業者への周知	県補助金の採択における香南市の事業者数が少ない状況。 本市の上乗せ補助金の制度を知っていただくために、商工会とも連携し制度周知に努めていく必要がある。	デジタル化の促進と物価高騰の影響を受けている中小企業等の支援策として、高知県の補助制度も含め、市内事業者への周知を図り、市内事業者にデジタル化に前向きになってもらうよう努める。

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
<div>商業支援</div> <div><div>8働きがいも経済成長も</div><div>9産業と技術革新の基盤をつくろう</div></div>	◆ 商業支援			
	<div>3. 中心市街地活性化計画の実行推進</div> <div>目標値 :計画エリア内の店舗数(298店舗) 10月末実績： 291店舗 ※昨年度実績:292店舗</div> <div>【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域商業者 【連携する分野】 県物部川地域アクションプランNO.7 香南市中心市街地の振興</div>	<div>【当初】</div> <div>・「香南市中心市街地活性化計画」に基づく事業の実行推進 ・ワーキンググループ及び協議会の開催 ・中心市街地活性化計画推進事業費補助金の執行</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・計画に基づく事業への取組状況 〈中心エリアの魅力向上・香南市の魅力発信班〉 ・5/24・10/11:高知蔦屋書店にて「マルシェこうなん」の開催 ⇒10/11実施のイベントについては中心市街地活性化計画推進事業費補助金を活用 ・フジグラン野市における「マルシェこうなん」の定期的な出店</div>	中心市街地及び香南市のPRの一環として発足した「マルシェこうなん」については、事業者が中心となって取組を継続できている。 今後も、事業者主体の前向きな取組が継続していくよう、適宜支援を行っていく必要がある。	「マルシェこうなんin高知蔦屋書店」を、1/31(土)に再度行う予定。 また、参画事業者からの提案もあり、陳列方法等、より効果的な販売についてのセミナー開催も企画中である。 今年度で香南市中心市街地活性化計画の計画期間は終了となるが、今後も市内事業者の取組と適宜連携を図り、地域商業の活性化に繋がるよう努めていく。 中心市街地活性化協議会については、R8.1に開催予定。

令和7年度の取り組み状況 【工業分野】

	R7年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
製造品出荷額	397億円	-	-	
新規雇用者数	16人	16人	-	

※ 製造品出荷額は、経済構造実態調査（調査年は前年度の製造品出荷額）のR6年工業統計結果
※ 新規雇用者数は、市内立地企業に新たに雇用された市在住の方の数

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評） 【資料1】

【R7.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 製造品出荷額397億円の目標に対し、R7年実績(R6.1～R6.12)の経済構造実態調査結果は未だ公表されていないことから、R7年10月末現在の評価は示していない。また、新規雇用者数については、10月末現在で合計16人となっている。 「企業の雇用支援」に向けた取組として、県主催の合同企業説明を9月に開催し、市内立地企業の人材確保にも努めた。 「既存企業の育成・支援」については、小学生の夏休み期間に、工場見学ツアーを開催し、若者の地元定住に繋がる取り組みを実施することができた。また、先端設備等導入計画について4件の認定をおこなっている。 【R7.11月以降の取組について】(A) 「企業の雇用支援」については、高知職業能力開発短期大学校及び高知県立城山高等学校での合同企業説明会を開催(R8年2月予定)し、市内企業の魅力発信や雇用支援にも取り組んでいくとともに、企業訪問を定期的に行い、現状・ニーズの把握に努める。また、ものづくり企業紹介を市HPでおこない、就活生等への周知を図る。 「既存企業の育成・支援」については、各種支援事業を継続して行うとともに、企業訪問等により市内事業者の課題等を把握し、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。先端設備等導入計画認定制度について事業者への周知を再度行う。

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
企業の雇用支援 <div><div>4</div>質の高い教育を みんなに</div> <div><div>8</div>働きがいも 経済成長も</div>	◆ ものづくりの基盤整備			
	1. 合同企業説明会の開催 目標値：開催回数(3回) 10月末実績：1回 ※昨年度10月末実績:1回 【実施主体】 香南市 高知県 高知職業能力開発短期大学校 【連携する分野】 -	【当初】 合同企業説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定住を図る。 ・R8.2月:高知県職業能力開発短期大学校主催で企業説明会を実施予定 ・R8.2月:高知県立城山高等学校で企業説明会を実施予定。 【10月末までの取り組み状況】 ・R7.9月:県主催で合同企業説明会を実施	・R7.9.3に高知県主催・香南市共催で合同企業説明会を実施。参加企業は11社、参加人数は23人となっており、企業と求職者のマッチングの場を設けることができた。 ・より、幅広く参加者を募るために、開催時期についても検討が必要。(例:夏休みの時期や土日等を実施することで学生の参加者を増やす等)	・高知職業能力開発短期大学校での合同説明会を開催予定(R8.2開催予定) ・城山高校の2年生を対象として、合同企業説明会を開催予定。(R8.2開催予定) ・就職先の選択肢の一つとして市内企業を知ってもらえるよう、企業に参加の呼びかけを行っていく。 ・学生の参加者を増やしていけるよう、次年度の高知県合同企業説明会に向けて、県や市内学校等とも連携して開催時期等の検討を行っていく。
既存企業の育成・支援 <div><div>4</div>質の高い教育を みんなに</div> <div><div>8</div>働きがいも 経済成長も</div>	◆ 中小企業の技術向上・魅力発信			
	1. 商談会開催事業 目標値：商談件数(60件) 10月末実績:30件 ※昨年度10月末実績:21件 【実施主体】 香南市 産業振興センター 【連携する分野】 -	【当初】 市内ものづくり企業に高知県産業振興センターが主催する商談会への参加を促し、受注拡大を図る。 ・香南市商談会開催事業費補助金の執行 【10月末までの取り組み状況】 ・高知県内開催 商談件数…30件(県単独商談会 1回、工場視察商談会 1回) ・高知県外開催 商談件数…0件(11月以降に実施)	10月末現在で県内外合計30件の商談実績となっている。昨年実施した大阪での商談会については諸事情により開催できていないが昨年同時期と比べると商談件数は順調に伸びている。(9件増) ・不安定な社会情勢の影響により、原油価格・材料価格の高騰等懸念される問題が多く、受注案件の確保が課題となっている。	・11月以降に高知県外での商談会を2回開催予定(京都府・徳島県) ・引き続き高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会への参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
<div>既存企業の 育成・支援</div> <div><div>4</div>質の高い教育を みんなに</div> <div><div>8</div>働きがいも 経済成長も</div>	2. ものづくり教育推進事業	【当初】 小学生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、将来地元で働く・暮らすイメージをもってもらふ。(小学生夏季休暇中7～8月)	・YAMAKIN株式会社及び丸三産業株式会社の2社を訪問。参加者からは大変好評のお声をいただいた。 ・上限30名で募集し、参加者が16名だった要因としては、各学校への案内チラシ配布とSNSでの広報はおこなったものの、長期間に渡っての案内が不足していたこと等が考えられる。	・来年度は、市の広報(紙媒体・SNS)を最大限駆使することと、学校教育課とも連携を取って声掛けをお願いするようにする。 ※事業案内の機会を増やし、より広い範囲で案内を網羅するため。
	目標値 ： 工場見学やものづくり体験学習 参加人数 (30人) 10月末実績： 16人 昨年度は開催数を目標値に設定 ※昨年度10月末実績:1回 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 8月7日(木)に工場見学ツアー実施 行先 ： YAMAKIN株式会社・丸三産業株式会社 参加人数 ： 16人		
	3. 中小企業者の生産性向上支援事業	【当初】 ・市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率を、雇用者給与等支給額を1.5%以上とする賃上げ方針に従業員に表明で課税標準を3年間、1/2に軽減。3.0%以上とする賃上げ方針に従業員に表明で課税標準を5年間、1/4に軽減。 ・先端設備等導入計画の認定 ・企業訪問や懇談会などで事業紹介を行うとともに、香南市商工会とも連携して利用の促進を図る。	・R7年度税制改正により、中小企業者の前向きな投資や賃上げを後押しするため、新たな固定資産税の特例措置が新設された。 ・10月末現在の認定件数は4件となっている。原油、物価高騰の影響による企業の設備投資の抑制と、令和7年度から、減免の要件として賃上げが必須になったことが、認定申請減少の一つの要因として考えられる。	・当事業は、R7年度に新たな固定資産税の特例措置が新設されR8年度末までの事業となっている。計画認定を受けることで活用が可能となる「香南市先端設備等導入支援事業費補助金」により、更なる軽減が図れる旨も説明しながら、引き続き計画の認定支援機関である商工会や金融機関等と連携し、市内の中小企業者に事業の周知を行い、認定件数の増加を図っていく。
	目標値 ： 先端設備等導入計画認定件数 (10件) 10月末実績： 新規認定 1件 変更認定 3件 ※昨年度10月末実績: 新規認定 5件 変更認定 2件(設備追加) 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 ・先端設備等導入計画新規認定(1件) ・先端設備等導入計画変更認定(3件) ・香南市先端設備等導入事業費補助金交付(3件)		

令和7年度の取り組み状況 【観光分野】

	R7年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
観光施設入込客数	108万人	83万人	－	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。（暦年 1-12月の合計）

【対象11施設】

- ①県立のいち動物公園:166,412人 / ②月見山子どもの森:16,495人 / ③ヤ・シィパーク:234,580人
- ④絵金蔵:9,313人 / ⑤天然色市場:22,834人 / ⑥やすらぎ市:164,154人 / ⑦あぐりのさと:8,539人
- ⑧黒潮温泉:111,022人 / ⑨創造広場「アクランド」:35,392人 / ⑩土佐カントリークラブ:49,994人
- ⑪四国自動車博物館:12,082人 合計:830,817人

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対するの総評）

【R7.4月～10月末の取組について】(P・D・C)

数値目標108万人に対し、実績83万人(達成率76.9%)となっている。今年度は、連続テレビ小説「あんぱん」の放送があり、高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」において香南市・香美市・南国市をやらせたかしさんゆかりの地として様々な取組が行われ、誘客促進が図られている。

また、三宝山エリアでは、4施設(県立のいち動物公園、井上ワイナリー(株)、創造広場「アクランド」、四国自動車博物館)で構成する「三宝山エリア観光を考える会」が組織され、エリアにおける周遊促進事業に取り組み始めた。イベント等では周知に課題があり、周知方法の検討が必要となっている。

【R7.11月以降の取組について】(A)


高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」でのPR活動と連携し、イベント等の情報発信を図る。11月8日に香南市・香美市・南国市をめぐる「ものべすと周遊ライド」を初開催し、地域の魅力を感じてもらえる機会とし、リピーターの獲得につなげる。

また、12月～2月末までの3ヵ月間「303スタンプラリー」を三宝山エリアで開催し、閑散期の誘客と周遊促進を図る。


戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
魅力発信の取り組み	◆ 魅力発信の取り組み			
	1. 魅力ある情報の発信	【当初】 ・月1回イベント情報を収集し、週1回情報を更新する。 ・ものべがわエリア観光博関連ページが開設されることを受け、物部川エリアでの観光博覧会実行委員会と連携する。 ・SNSからHPへ誘導する投稿の実施(随時) ・HP内の横展開や滞在時間増加に向けた改善(随時) ・パンフレットの改訂や新規作成にあたってはGuidoorのQRコードを入れる。 ・各施設へGuidoorのQRの活用を呼びかける。 【10月末までの取り組み状況】 ・更新回数240回:イベント121回、お知らせ36回、観光スポット60回、会員情報・固定ページ23回。(最終更新日のカウントを集計) ・チューリップ・オンツツジ・桜・藤・バラ・あじさい等の花の開花情報を写真と共に、DMO共同ブースでの出店PR、KONAN TRAIL情報、ものべすと無料シャトルバス、みかん狩り等をタイムリーにニュースに掲載 ・ニュースには関連ページへのURLを掲載しHP内の滞在時間を長くできるように取組んだ。 【特設サイト】 ・第3回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～特設サイトをオープン ・毎月イベント情報を収集し掲載	・今年度は、みなこい港まつりのポスターを作らないとのことだったので、Instagramに7/9に最初の投稿をした(昨年は7/28投稿・保存70、いいね330、シェア6)こともあり、早い段階からインスタで見られてHPの検索・訪問へと繋がったのではないかと考える。 ・SNS経由でのHPアクセス数 Googleなどの検索エンジン、ブックマークから直接、他のサイトから、SNSからのリンクから観光協会HPへアクセスした回数は、143,340。 Google、ヤフーからが多く、KONAN TRAILを掲載しているトレイルランナー.JP、Instagram、Facebook、ココハレなどからのアクセスもある。 ・HP内の滞在時間 平均1分45秒。表示回数は287,160。表示の多い順は、トップページ、第19回香南市みなこい港まつり、手結港(可動橋)、買う・食べる、のいちあじさい街道、みなこい港まつり(見る)、どろめ祭り、トレイルランニング2025、第68回土佐赤岡どろめ祭りとなっている。 1人が見るページの多さは、トレイルランニング、トップページ、買う・食べるの順で、買う・食べるページはページ滞在時間も最も長く1分55秒。第19回香南市みなこい港まつりと買う・食べるは、そのページだけ見て帰った率も高い。	引き続きイベント情報等を分かりやすく迅速に掲載していく。 早生みかんの収穫に向けたHPニュース・ストーリーズ掲載など、地場産品販売促進部とも連携していく。 PRの際にSNSフォロワーを増やす取組を行っていくことで、リンクからHPのアクセス数の増加を図る。 現在アクセスの多いページ内容の充実等に取り組んでいく。

8

働きがいも
経済成長も






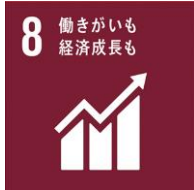
戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
魅力発信の取り組み 		<p>【情報提供先】</p> <ul style="list-style-type: none">・高知県公式観光情報Webサイトこうち旅ネット・物部川DMO協議会・ミリカ・四国電力等 <p>【博覧会関連】</p> <ul style="list-style-type: none">・4/30観光博覧会「ものべすと」バナーをHPに貼付・ものべすと無料シャトルバス、親子体験博、ものべすと映画祭り等をイベント欄に掲載・SNS (Instagram、フェイスブック、スレッズ) にも博覧会イベント情報を掲載・Instagramは共同投稿へ招待依頼した投稿有・イベント期間・開催日・開催中の情報をストーリーズに、博覧会アカウントのメンションし、HPへの誘導できるようにURLを掲載して投稿・Instagramは「#ものべすと」をつけて投稿し、高知旅ネット・デジタルサイネージへ掲載 <p>【訪問ランキング】</p> <p>1位:14,553訪問…(7/27) みなこい港まつり 2位:4,321訪問…(7/26) みなこい港まつり前日 3位:3,545訪問…(10/5) KONAN TRAIL</p> <p>Instagram1位</p> <ul style="list-style-type: none">・投稿:8/30★澤餅茶屋さんより「お茶屋餅」をご協賛いただきました！★:閲覧数86,298、リーチ24,195、フォロー20、いいね431、コメント5、保存22(同じ内容でのFacebookはコメント20)・ストーリーズ:9/15インナー・ファクトさんで注文してた オリジナルデーピングが きたーーーー！:閲覧数1,984、リーチ1,664、いいね8・リール:7/23★香南市こどもよさこい連合会★みなこいに向けての練習:閲覧数5,526、リーチ3,578、フォロー6、いいね247、保存数11、再生時間1日1時間(再生時間の1位)	<p>HPとSNSでのアクセスには差があるが、アクセスの高かったイベントはお客様も興味があるんだと感じる。</p> <p>イベント情報・特設サイト・ニュースについてもタイムリーに更新ができた。</p> <p>イベント開催が多い月などは、HPに掲載できても、SNSへの投稿が追いつかないことがある。</p> <p>見てもらえる投稿をするための準備(写真・文章)、ストーリーズ投稿にも、時間を割かれる。フォロワーを伸ばす・タイムリーに返信する、新しい情報を掲載するということは、やり続けないといけないため、負担は軽減が難しい。</p>	

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進	◆ 広域連携による周遊促進			
	1. ヤ・シィパークを核とする地域の活性化促進	【当初】 ■インクルーシブ化の推進 ・施設の適切な維持管理 ・多様な観光客に対応するためのスタッフの対応力向上 ・バリア情報の発信 ・多様な観光客の受け入れ環境整備 ■集客力の向上 ・観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・集客のためのイベント等の実施 ・HPやSNS等を利用した情報の発信 ・設備等の整備 ■売上増に向けた取組の強化 ・直営店舗の効率的な運営 ・HPやSNS等を利用した情報の発信 【10月末までの取り組み状況】 ○観光拠点化 4月～10月 レンタサイクル(221件) 6/28・6/29 土佐よさこいツーデイウォーク 7/19～8/24 海水浴 7/20 マリンフェスティバルYASU2025 7/27 親子木工教室(月見山こどもの森) 7/27 香南市みなこい港まつり駐車場とシャトルバス 8/15 手結盆踊り・花火大会 10/5 KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎのトレイル～(一社香南市観光協会) 10/19 昆虫展 10/25 芸西竹灯りの宵イベントの駐車場とシャトルバス ■集客力の向上 ・台湾チャーター便利用の観光客向け龍馬パスポート対象施設となった。 ■売上増に向けた取組の強化 ・直営土産物店は、連続テレビ小説「あんぱん」放送に合わせて商品アイテムを増やした。	■インクルーシブ化の推進 公園のボードウォークや遊歩道が整がされ、案内看板の設置などインクルーシブ化が進んでいる。しかし、道の駅やすの施設には、木製階段、ウッドデッキなど老朽化が進み危険な箇所がある。 ■集客力の向上 入込客数は昨年同時期(149,985人)から1025人増え、売上金額も12,923万円増加した。以下のような利用があり、新たな観光客の増加が見込まれる。 ・地域の有志にて企画性のある結婚披露パーティーの開宴(ヤ・シィパーク) ・来年公開予定の映画の撮影(道の駅) ・『ボケふた』が設置され期間限定のスタンプラリーのスポットになった(ヤ・シィパーク) ・台湾チャーター便利用の観光客向け龍馬パスポート対象施設となった。 ■売上増に向けた取組の強化 ・直営土産物店は、連続テレビ小説「あんぱん」放送に合わせて商品アイテムを増やしたことで、売上は前年同期の12%増となった。レストランmanamanaの売上も12%増となった。道の駅全テナントの売上金額は対前年比105%と増加した。	■インクルーシブ化の推進 ・こども広場の老朽化した遊具のインルーシブ対応の遊具への交換整備が必要。 ■集客力の向上 ・台湾チャーター便利用の観光客向け龍馬パスポート対象施設になったが、言語対応、キャッシュレス決済の未導入など受入れに不安がある。インバウンド対策が今後の課題となる。 ■売上増に向けた取組の強化 ・空き店舗のC棟については今期にも問い合わせがあったがその後の進捗はないため、今後も引き続き空き店舗への入居者を募集していく。 【今後の予定】 ・ヤ・シィの秋まつり(11/23) ・カシオゴルフ大会駐車場(11/27～11/30) ・YASU海の駅クラブ花火大会(11/30) ・海辺のイルミネーション(12/1～12/30) ・ヤ・シィシクロクロスカップ(1/31・2/1)

8

働きがいも
経済成長も








戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進	◆ 広域連携による周遊促進			
	2. 三宝山エリア活性化促進	【当初】 ■各施設の情報の共有と発信(随時) ■共同商品開発(随時) ■連携イベントの開催(年1回、4施設) R7:・三宝山エリアのマップ作成(R6年度)、春休み中から配布開始 ・4施設周遊スタンプラリーの実施 【10月末までの取り組み状況】 (のいち動物公園) ■のいちdeエンジョイ！GW2025 ■柴田ケイコどうぶつ絵本原画展、トークショー＆サイン会 ■ドリームナイト・アット・ザ・ズー ■夜の動物公園「のいちdeナイト」 ■夏休み企画展「カブ・クワ展2025 世界一周カブクワの旅」 ■台北市立動物園と友好協定の締結 ■「台湾グローバル・パスファインダー・イニシアチブ」研修生の受入れ ■ハシビロコウシンポジウム	■のいちdeエンジョイ！GW2025(4～5月)入園者数まとめ ・らんまん放送時(R5.4～5月)との比較は、-0.4%とほぼ横ばいであった。 ・昨年度比114.9%と大幅に増加したが、開園日が昨年より2日多かったことと、天候に恵まれたことが主な要因と思われる。 ・5月の休日(4日間)は、昨年度比101.8%であった。 ・県外ナンバーの駐車率は60%で、例年通りの水準であった。 ■ドリームナイト・アット・ザ・ズー 慢性疾患や障がいのあるお子様とそこそご家族を夜の動物公園へ招待するイベントで、第16回目を迎えた。県内外から118組448名の参加があり、夜の動物たちの様子や飼育係と手話通訳者による動物ガイド、協賛企業のイベント他を楽しんでいた。 ■夜の動物公園「のいちdeナイト」 9月14・20日、10月4日の計3回実施し、天候の影響を受けながらも延べ8,135人の来園があった。夜行性動物○×クイズや、ハロウィンナイトではアニマル仮装コンテストを実施し好評であった。仮装コンテストでは創意工夫のある仮装がみられたが、園内での仮装者は少なく、周知方法を検討する。 ■柴田ケイコどうぶつ絵本原画展、トークショー＆サイン会 閑散期となる6月の集客向上を目的として開催し、入園者数は昨年度比106.9%であった。トークショーは、収容力が限られていたため大きな集客には至らなかったが、サイン会については募集方法の工夫により、さらなる集客に繋げることが今後の課題である。 ■夏休み企画展「カブ・クワ展2025 世界一周カブクワの旅」 ・非常に好評で、入園者数は昨年度比135.5%となり、人気の高いイベントであることを再認識した。 ・関連イベント「第9回ドデカブト選手権」も多くの参加があった。 ■台北市立動物園と友好協定の締結 今年7月に台北市立動物園との友好協定を締結し、今後は職員の交流研修や共同イベントの実施など、具体的な取り組みの展開が課題である。 ■「台湾グローバル・パスファインダー・イニシアチブ」研修生の受入れ 初めての海外からの研修生受入となったが、飼育技術の習得や教育普及イベントへの参加・企画など双方にとって非常に実りのある研修となった。 ■ハシビロコウシンポジウム 昨年、神戸どうぶつ王国で開催された第1回に続き、第2回を当園で実施した。県外からも多数の申し込みがあり、ハシビロコウ飼育園館としての認知向上や、当園の繁殖への取り組みについて広く周知する有意義な機会となった。	(のいち動物公園) ■種の保存や教育普及、及び集客に繋がる事業を検討する。 ■集客向上を目指すのが、駐車場不足が問題である。 (創造広場「アクトランド」) 県が主催するどっぶり高知旅の研修や外国人観光客消費拡大セミナー等に参加して学んだInstagramを使った発信やGoogleマップの活用などアドバイスを受けながら実践していく。 【今後の予定】 (のいち動物公園) 第34回写真コンテスト作品募集(10/1～12/20) 環境絵日記作品展(11/15～30) 動物愛護絵画展(11/15～11/27) どんぐり感謝祭(11/23) クリスマス、お正月イベント(12/20,21、1/2,3) 干支展「ほ～すごいぞ！馬の魅力展」(12/13～1/12) 探鳥会(1/11) のいち動物公園ボランティアーズ第28期生募集(2/1～2/23) 節分イベント(2/1) さわる動物園(3/7) 第34回写真コンテスト作品展(3/15～5/6)

8

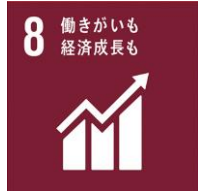
働きがいも
経済成長も



戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進 		<p>【10月末までの取り組み状況】 (井上ワイナリー) ★1 2025メーカーズパーティ開催(2025/10/10) ★2 県内各種イベントに出店(通年) ★3 都内ワイン会を主催(年間) ★4 日本ワインコンクール2025にて、5アイテム受賞(銀2、銅3) ★5 フェミナリーズワインコンクール 金賞(美良布MBA) ★6 日本ワインアワード2025 三ツ星獲得 ★7 大分県津久見商工会委託醸造(サンクイーンワイン)</p> <p>(創造広場「アクトランド」) [ミュージアム] ・10周年記念チケット販売 ・企画展2回 ①闇夜の煌めきKUMA'sBLUE ②絵金絵馬提灯特別展 ・スタンプラリー等 5件参画 夏休みイベントガイドスタンプラリー、南国ICわくわくゾーンスタンプラリー、めしあがれ！ゆず・しょうがスタンプラリー、四国周遊創造広場アクトランドバス [ファクトリー] ・体験イベント ①ガラス造形(小皿・根付) ②ランプシェイド溶接体験 ③絵馬提灯づくり ・オープン1周年記念 めざせ溶接人(8月) [他施設合同] ①四国自動車博物館とのコラボ企画 第3回W感車際 ②四国自動車博物館とのコラボ企画 第2回ハロコスフェスタ2025 ※井上ワイナリー、のいち動物公園もサブ会場として参加 [その他] ・絵金祭り参画 ・絵金蔵とコラボチケット ・絵金生誕祭(9月)出店 ・マルシェこうなん出店 ・地元小学校(野市・佐古)社会見学受入</p>	<p>(井上ワイナリー) ★1 2025年の会員と同伴者の約200人で開催。会員の親睦、他で出さないワインを中心に楽しんでもらう。</p> <p>★2 行政主催、民間主催のイベントに毎月2回ほど参加。認知度の向上とイベント売上により手持ち運転資金の増加ができた。</p> <p>★3 酒販店、個人、飲食店の要望により各店舗の顧客を対象に当社のワイン会を実施。都市部での認知度向上ができた。</p> <p>★4 山北地区のアルバリーニョ、シャルドネ、シャルドネスパークリング、タナのアイテムが銀×2、銅×3アイテム受賞。受賞点数は大手ビールメーカー傘下のワイナリー含めトップ20入りした。受賞ワインは外務省を通じて、在外公館ヘリストが配布され、インド、南アフリカ、ミクロネシア、クロアチアの在外公館からオーダーがあった。</p> <p>★5 香北の老人クラブが栽培する、マスカット・ベリーAのロゼが金賞を受賞した。収益よりも活動内容ややりがい造りを目的とする老人クラブの活動としては良い結果を得ることができた。</p> <p>★6 3年連続でアワード3星を獲得した。 ★7 山北みかんワインを飲んで、委託依頼があった。</p> <p>(創造広場「アクトランド」) ミュージアムとファクトリーの特性を活かした運営により、入館(有料)は増加したが、無料部分を含めた全体の入込客数が減少しており、客層が変化してきていると思われる。ミュージアムは学び、ファクトリーは体験を中心におき、様々な企画をしているが、周知方法に課題がある。</p>	<p>(井上ワイナリー) 従業員の雇用が進み、人の確保が出来てきた。 5周年イベントの開催を予定。</p> <p>(創造広場「アクトランド」) ・おかえりなさい絵金展 ・刀剣展示2025(令和土佐藩プロジェクト参画)…公開お手入れ数回開催 ・恋するワイヤーアートカップリングパーティー(12/6)</p>

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進 		<p>【10月末までの取り組み状況】</p> <p>(四国自動車博物館) アクトランドとの周遊チケット販売(9～10月) 10月18日19日 ハロウィンイベント開催(コスプレイベント) アクトランド・博物館をメイン会場とし、井上ワイナリーとのいち動物公園を周遊可能とした。</p> <p>(三宝山エリア観光を考える会) 三宝山地区への観光誘客、周遊促進を目的として、令和7年6月26日に4施設で「三宝山エリア観光を考える会」(任意団体)を組織した。 12月から開催の303スタンプラリーに向けて準備。</p>	<p>(四国自動車博物館) ・6月から9月までの来場者数前年度割れとなり、例年、県外からのお客さんが多いことから関西万博の影響したかと思われる。 ・コラボチケット枚数前年度割れとなった。 2024年:712枚 2025年:526枚 →9月の来場者数前年より315名減少が響いた。 ・ハロウィンイベントは前年比156%となった。 2024年:46枚 2025年:72枚 →開催2回目なので徐々に浸透してきたことやマスコミ各社に取り上げられたことも影響した。</p> <p>(三宝山エリア観光を考える会) 4施設が共同で観光イベントを行うことで地域への誘客力のアップと、エリア内での関係性強化で周遊促進を行うことを目的としている。初年度は「物部川エリアでの観光博覧会推進事業費補助金」を活用したスタンプラリー事業(事業費52万円)を行うこととなった。 ビジネスモデル、ターゲットが異なる異業種の集合体のため、今後どのような方向性に進むことが正解なのか探る必要があるが、4施設の個性が活かせるようなイベントの展開は視野に入れて活動を行ってゆく。各社予算的にも人員的にも制限がある中で、最大公約数がとれるように初年度の結果を見て次年度の活動を検討することになっている。 三宝山の地元の方々と一緒に取り組む地域性のある事業や、香南市の他エリア(商店街、赤岡、夜須など)との共同企画などの声が上がっている。</p>	<p>(四国自動車博物館) 12月からスタートするスタンプラリーの開催期間に併せて、博物館での特別展示企画を実施。</p> <p>(三宝山エリア観光を考える会) ・303スタンプラリーを実施(12/1～2/28) 次年度以降は利用できる補助金が限られてくるので、費用面をどのように工面するのが課題になる。効果があれば「補助金ありき」の事業ではなく、主体性をもって展開する必要があるとも考えられる。</p>

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進	◆ 広域連携による周遊促進			
	3－1. 物部川エリア観光連携事業 (観光施設入込客数)	【当初】 ■ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ■ 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ ・セールスの実施、商談会への出展 ・SNS等を活用したエリアの情報発信 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・ワーケーション事業の推進 ・教育旅行の誘致、インバウンド誘客、関西圏からの誘客 ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略 ■ 地域連携による周遊促進 ・ものべがわエリア観光博「ものべすと」の開催 ・地域連携企画の実施 【10月末までの取り組み状況】 ■ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 →「物部川エリアでの観光博覧会実行委員会」を設置し、博覧会を実施する中で、各施設の入込数の共有やイベント開催時などに相互PRを図っている。 ・マリンフェスティバルでのあんぱん食い競争 ・絵金祭りでの運営協力、PR ・三宝山コスプレイベントへの刃物祭りからの誘客等 ■ 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ →11月に開催する「ものべアートクロッシング」に向けた赤岡地区のガイドと芸術をつなげる準備 →ごめんなはり線、香南市観光協会と連携した「フルーツ列車」プランの造成 ・セールスの実施、商談会への出展 →4/22東京商談会、5/22広島商談会、6/5福岡商談会、9/2東京商談会、10/6東京商談会、10/16大阪商談会、10/27インバウンド商談会愛媛、10/30名古屋商談会、10/25-28ツーリズムEXPOJAPAN ・SNS等を活用したエリアの情報発信 →「高知観光情報ナビ」を「ものべすと」に変更。フォロワーが2,000から14,000に増 ・ユニバーサルツーリズムの推進 →ビーガン、ベジタリアン対応の飲食店、子育てファミリー対応の飲食店リスト、サイト、広報物「もぐもぐものべこどもグルメ図鑑」の制作 ・ワーケーション事業の推進 →テレワーク・ワーケーション官民推進協議会に参加。定期的な情報交換を継続。 ・教育旅行の誘致、インバウンド誘客、関西圏からの誘客 →一般旅行235件造成88件催行、教育旅行3件催行 ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略 →観光庁の専門家派遣事業に申請し、戦略策定中。	■ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 →博覧会での協力を機に、情報交換が活発化。これまで聞き取りを行っていなかった観光施設などからもイベントや業務内容、数字を得られている。 ■ 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ →販売ルートと価格の調整が必要 ・セールスの実施、商談会への出展 →エリア内の「やなせたかし」企画が終了しつつあるので、誘客に向けた素材造成が必要。 ・SNS等を活用したエリアの情報発信 →プレゼントキャンペーンなどを終了させた後でのフォロワーの増の図り方 ・ユニバーサルツーリズムの推進 →これまで主としていた障がい者対応のマリンアクティビティが夏の暑さで実施が難しくなっている ・ワーケーション事業の推進 →宿泊費の高騰 ・教育旅行の誘致、インバウンド誘客、関西圏からの誘客 →旅行会社の造成、販売後の集客、催行が課題 ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略 →国内、県内との比較と判断を行う材料の決定 ■ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 →博覧会は2月8日で終了するが、良い関係性が築けつつあるため、情報交換をを継続できるよう努める。 ■ 観光商品の充実・観光客の広域誘致 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ →フルーツ列車のモニターツアー実施、ブラッシュアップ、通訳案内士の育成 ・セールスの実施、商談会への出展 →11月台湾旅行会社のアテンド、クルーズ船商談会、12月教育旅行商談会、阪急交通社商談会。1月スポーツツーリズム商談会、2月台湾商談会 ・SNS等を活用したエリアの情報発信 →当初目標の2万フォロワーに向け、継続発信を行う ・ユニバーサルツーリズムの推進 →食のユニバーサルの協力店を増やす ・ワーケーション事業の推進 →テレワーク・ワーケーション官民推進協議会と連携し、情報交換と誘致活動を継続する ・教育旅行の誘致、インバウンド誘客、関西圏からの誘客 →2月まで続く商談会で、次年度の造成の営業を続ける ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略 →webアンケート、対面アンケート、観光施設への聞き取りを継続し戦略を立てる	
	<div>8 働きがいも経済成長も</div> <div>高知県</div>			



戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進 <div>8働きがいも 経済成長も</div>		■地域連携による周遊促進 ・ものがわエリア観光博「ものべすと」の開催 → ・10/12弁天座での映画祭り ・生姜グルメ開発 ・子育てファミリー向け飲食店との連携 ・ビーガン、ベジタリアン食の開発 ・わくわくゾーンスタンプラリーに新たに絵金蔵が参加 ・シャトルバスの運行 ・観光デジタルサイネージ、パンフレットラックの設置 ・事業者勉強会の開催 ・ものべすと親子体験博の開催 ・バスツアーの開催 ・地域連携企画の実施 → ・デジタルマップ「ものとーぶナビ」を活用したパン・ス イーツスタンプラリーの開催	■地域連携による周遊促進 ・ものがわエリア観光博「ものべすと」の開催 →計画に挙げた事業を順調に実行中。 ・地域連携企画の実施 →1日のイベントは近隣からの来客が多く、目的である県外から の誘客に課題がある	■地域連携による周遊促進 ・ものがわエリア観光博「ものべすと」の開催 →策定済みの計画「受け入れ事業」「誘致広報事業」を推進 ・地域連携企画の実施 →11/8ものべすと周遊ライドの開催、2月8日サンクスイベントの開催
	◆ 広域連携による周遊促進			
	3－2. 物部川エリア観光連携事業 （観光消費額） 目標値 ： 1人あたりの観光消費額 （ 16,000円） 10月末実績 :15,396円 【実施主体】 （一社）物部川DMO協議会 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 物部川地域における広域観光の推進 ※（一社）物部川DMO協議会の事業計画とリンク	【当初】 物部川エリアを訪れた観光客を対象としたアンケート調査 を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握し、観光消費 額増加につながる取組に反映する。 ■調査地点 入込客数が1万人以上もしくは特定月の入込客数が5千人 以上である観光施設、従業員10人以上の宿泊施設 ・地域連携企画の実施 【10月末までの取り組み状況】 ・WEBでのアンケート 670件 ・対面調査 564件 ・観光施設への聞き取り 12件/月 ・宿泊施設への聞き取り 13件/月 ・体験プログラム事業者への聞き取り 38件/月	調査活動は順調。4, 5, 6月の観光消費額は低かったが、7月 から伸びが見られる。	調査活動は継続。一人当たりの観光消費額を伸ばすため、滞在時 間の延長、お土産や飲食費を増やす広報、取り組みを行う。 ・ゆず・しょうがスタンプラリー ・ものべアートクロッシング ・宿泊補助キャンペーン 等

戦略の柱	事業名	R7年度の具体的な取組プラン【P】 R7年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R7年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R7.11月以降及び次年度)に向けて
広域連携の促進	◆ 広域連携による周遊促進			
	4.サイクルイベントの開催	【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内事業者の収益増につながる大会の開催。 R7 ・3市周遊ライド 350人 ・高知シクロクロスカップ 150人 ・タンデム自転車体験会 20人 ・シニアサイクル体験会 20人 ・親子ライド 20人 ・キックバイクイベント 100人 ・障がい者向け自転車教室イベント 30名 ・健康サイクリング 60名(年間3回)	6/7実施の健康サイクリングは参加対象者を小学生まで広げて市内小中学校にチラシ配布などを行い、幅広い年代の方の参加があった。10/13企画分は、来年度から改正される道路交通法に沿った自転車ルールの講習会などを内容としたことから堅いイメージになったと考えられ、参加者が集まらなかったため中止した。イベントの内容設定と周知が課題となっている。今年度はイベントの実施回数を減らすため、参加者数は計画よりも減少する見込みである。	11月8日に開催する「ものべすと周遊ライド」は初開催で県内外からの観光客を呼び込めるサイクルイベントのため、参加者の満足度を上げる取り組みを実施し、来年度以降のリピーター獲得のため入念に準備を行う。また、アンケートの結果や他市のイベントも参考にし、市民の興味を引くイベントを企画する。
	目標値 :サイクルイベント参加者数 (750人) 10月末実績 :12人 (前年同月比:▲86人) 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 (一社)物部川DMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 南国市 香美市 【連携する分野】 香南市自転車活用推進計画 県 物部川アクションプラン NO.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	【10月末までの取り組み状況】 ・健康サイクリング(6/7:12名、10/13:中止) ・ものべすと周遊ライド準備 今年度は物部川エリアでの観光博覧会実行委員会と協力した「ものべすと周遊ライド」初開催のため、準備に時間を要するため、以下のイベント開催を断念した。 ・シニアサイクル体験会 ・タンデム自転車講習会 ・親子ライド		【10月以降の開催イベント予定】 ・ものべすと周遊ライド(11/8) ・健康サイクリング(1/24) ・ヤ・シシシクロクロスカップ(2/1) ・障がい者向け自転車教室(3月) ・キックバイクイベント(3月)
受入体制の強化	◆受入環境の強化			
	1.観光客受入研修の実施	【当初】 事業者向けに観光客受入研修を年1回開催する。	インバウンド、障がい者、高齢者、ベビーカーを押す子育てファミリーまで包括した「ユニバーサルな観光地」となることを目的に研修を行う。実際の対応で配慮すべき点や役立つ方法を学ぶほか、物価高や人員の確保で苦慮している事業者が活用できる、市や県の補助金、取組の説明も行う。またインバウンドの受け入れに関する情報交換会も行う。	12月17日に開催後、アンケートやその場で出た意見、悩み事などをまとめ、対応ができる関係各所につなげるほか、次年度の研修のテーマを検討する。
	目標値: 参加事業者数 (15者) 10月末実績: 者(12月17日開催予定) 【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 (一社)香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 「ユニバーサルツーリズム」をテーマに開催に向けて準備。 (内容) ・障がいの理解や観光場で役立つ情報 ・子育てファミリー層の来訪につなげる県の取組 ・多様な観光客の受入環境整備のための補助金等の情報共有、意見交換、体験を行う計画		
	2.交流人口拡大受入環境整備事業 (交流人口拡大受入環境整備事業費補助金)	【当初】 子ども連れファミリー層、外国人、高齢者、障がい者の受入環境の強化に取り組む事業者を対象に、整備費用の一部を助成する。	補助金が知られていないことが、利用につながっていないことがわかり、周知方法に課題がある。 ヒアリングしたところ、補助内容に該当する事業のニーズはあったため、より多くの事業所へのご案内が必要。	「もぐもぐものべ こどもグルメ図鑑」に参画している(子どもに向けたメニュー提供)事業者や高知県こども・子育て応援環境整備事業費補助金を活用した事業者を訪問し、ファミリー層の受入に向けた補助金利用ニーズのヒアリングを実施するなど、直接補助金の案内を行う。また、外国人観光客受入や高齢者・障害者受入の整備ニーズもヒアリングを行う。
	目標値 : 補助金利用件数 (5件) 10月末実績 :0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 ・市HPでの情報発信、窓口にてチラシ配布 ・市内金融機関に対する補助事業の説明(4/17) ・香南市観光協会観光施設連絡会にて周知(4/22) ・事業者ニーズヒアリング(2事業者)(10月)		